



かぜ ひかる 2007年5月号

全国福祉保育労働組合

東海地方本部

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町9-7

労働会館東館405

TEL 052-881-2971

FAX 052-881-2998

e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp

http://www.fukuho-tokai.jp/

発行責任者／横井 あかね

〇七春闘 拡大の「プラス1」！ やったぞ「総がかり作戦」in愛知



(訪問先の施設長さんと。横井委員長・佐山オルグ)



(↑訪問先の職員に鈴木さん・柏本さんで説明)

(←増村さん・藤原さん、1カ所目で緊張気味)



吉岡さん、全労連の栗原さんが駆けつけてくれ、総勢二三人での行動でした。

四月二六日（木）、全労連提起の「総がかり作戦 in 愛知」を活用して、私たち福保労東海地本も、大きく拡大の「プラス1」に一步踏み出しました。

「総がかり作戦」当日に向けた準備として、障害協議会ではアンケート作成をし、組織部と書記局で東海地本パンフを作成し、執行委員会では各分会での「休暇部隊」と「知る会」の設定を呼びかけました。

当日は、年度始めの忙しい時期にもかかわらず多くの分会が協力して「休暇部隊」や夕方の宣伝行動、夜の「知る会」に入を送り出し、みんなで取り組むことができました。

また、全労連オルグの佐山さんを始め、中央の泉谷さん、兵庫の大西さん、京都の

アンケートを今年は直接持つてお願いにあがりました。」と言ふと、どこも快く対応してくれました。訪問後、すでに四ヶ所の施設からアンケートが返ってきました。（5/7現在）

思い切っての丸一日行動は大変でしたが、楽しくもあり有意義でした。是非、この経験を今後につなげて行きましょう。

音楽が好きで、色々なライブやクラブイベント、フェスに遊びに行きました。それらの楽しさは様々ですが、その空間・時間が“色々な人間がそれぞれ好きに楽しむ”ようなものになつて、まあ極楽みたいなものになります。いつも、セクシャル・マイノリティが集まるクラブイベントがありました。二年前同性同士で踊つたり、ドラグ・クイーンもいて、外國たり、ドライ・クイーンもいて、外国人も多くて。

「ヘテロの日本人」は日常ではマジョリティだけど、その中では逆で。その「何でもOK」な感じが、ナイズな音楽とも相まり最高に気持ち良かったです。と書いていて思い出しました。二年前の今頃、核兵器廃絶を訴え歩いた二コ―ヨークでのデモもそうでした。様々な国や人種の人達が、それぞれ思ひ出しました。二年前も一部でシユブレビ・コールもあります。それは全体の中でのあくまでヨークでのデモもそうでした。様々な形でパフォーマンスやアピールしないで歩いていて。皆で一緒に服着たけど、それは全体の中でのあくまでヨークでのデモの根にある、社会運動のあり方や更には文化のあり方の豊かさが日本とは大きく違う、ということなのでしょうか。

ここで「日本」と書いたけれど、とりあえずは「僕の周りの社会運動や文化のあり方」ですね。日本でもセクシャル・マイノリティの人達のデモは、写真で見てみるとそのデモに負けてませんから。同じ服装たり同じ踊りをすることに皆が積極的な様子を見ると、とても不思議なのです。

違和感や疑問・抵抗を感じる人はいないかな？ といえず一人で呟きます。

(A.E)

風の音

音楽が好きで、色々なライブやクラブイベント、フェスに遊びに行きました。それらの楽しさは様々ですが、その空間・時間が“色々な人間がそれぞれ好きに楽しむ”ようなものになつて、まあ極楽みたいなものになります。いつも、セクシャル・マイノリティが集まるクラブイベントがありました。二年前同性同士で踊つたり、ドラグ・クイーンもいて、外國たり、ドライ・クイーンもいて、外国人も多くて。

「ヘテロの日本人」は日常ではマジョリティだけど、その中では逆で。その「何でもOK」な感じが、ナイズな音楽とも相まり最高に気持ち良かったです。と書いていて思い出しました。二年前の今頃、核兵器廃絶を訴え歩いた二コ―ヨークでのデモもそうでした。様々な国や人種の人達が、それぞれ思ひ出しました。二年前も一部でシユブレビ・コールもあります。それは全体の中でのあくまでヨークでのデモの根にある、社会運動のあり方や更には文化のあり方の豊かさが日本とは大きく違う、ということなのでしょうか。

ここで「日本」と書いたけれど、それほど多くはないと思います。僕の周りの社会運動や文化のあり方ですね。日本でもセクシャル・マイノリティの人達のデモは、写真で見てみるとそのデモに負けてませんから。同じ服装たり同じ踊りをすることに皆が積極的な様子を見ると、とても不思議なのです。

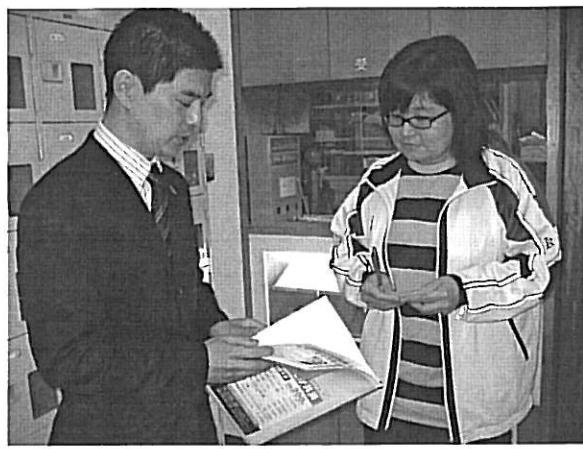
違和感や疑問・抵抗を感じる人はいないかな？ といえず一人で呟きます。

「総がかり作戦」愛知を終えて

障害協議会議長 石川 修

「4・26の総がかり作戦「愛知」に参 加したみなさん、「いいひつあがでした。また、早く参加者を送りだしてください」と職場のみなさんありがとうございました。

今回のよう組合アンケートや署名等をもっての県下障害職場いっせいの要請行動や、複数の場で同時に組合を知る会にとりくんだのは東海地本結成以来はじめてのことだと思います。まさに画期的なものでした。



(訪問先の職員さんに資料を手渡し説明する仲野書記長)



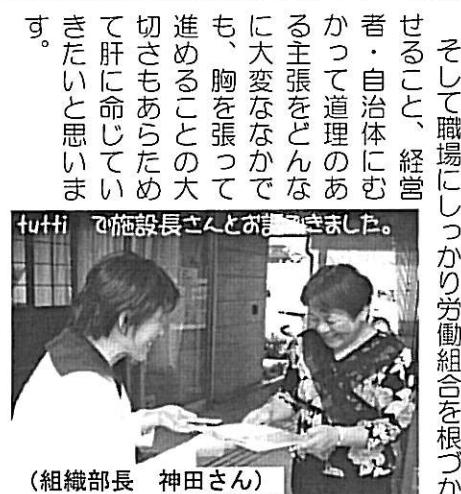
(めばえ分会長 福田さん)

(←そよ風分会 松岡さん)

金山の夕刻宣伝では、ティッシュ450個と飴つきチラシを120部配布しました。最初恥ずかしかったけれど、受け取りのよさにすぐなれました！

「存知のように、障害者自立支援法は障害当事者も事業所も福祉労働者も、その理念はともかく実態は誰もが被害者となっています。それを真に障害のある人の自立を支援し、労働者も安心して働きつけられるものに変えていくには、現場で働く労働者自身が現実に甘んじて耐えることやあきらめから脱却し、声を上げ続けることでし

た。また、快く参加者を送りだしてください」と組合アンケートや署名等をもっての県下障害職場いっせいの要請行動や、複数の場で同時に組合を知る会にとりくんだのは東海地本結成以来はじめてのことだと思います。まさに画期的なものでした。



(組織部長 神田さん)

か解決の道がないことは明らかです。しかも少數の小さなつぶやきではなく、多数の大っきい叫びにしていくことが欠かせません。今回のとりくみは、そのための意味ある一歩になりました。しかし、求められる姿からするとまだまだです。私たち障害協議会はほんとうに微力ですが、これをステップにして引き続き仲間を広げる努力をしていきたいと思います。

そして職場にしっかり労働組合を根づかせること、経営者・自治体による主張をどんなに大変なかで切さもありあらためて肝に命じてまいります。かつて道理のある主張をどんなに大変なかで肝に命じてまいりたいと思いま

りしました。
障害職場の受けの悪さにむづりへ保育園の訪問では、固定概念でか、組合の名前だけでアレルギーを起す園もかなりあり、門前で体よく断られることがあることを思つて、「受けが良いなう・・・」が実感です。

その分アンケートや署名がたくさん送られるとよいですね。

たたかう仲間が増えれば…

執行委員 鈴木敏宏

金山の夕刻宣伝では、ティッシュ450個と飴つきチラシを120部配布しました。最初恥ずかしかったけれど、受け取りのよさにすぐなれました！

今回、残念ながら二六日に「知る会」を行えなかつた所は、都合のいいときを調整しては、回答してくださった施設へはもう少しこんな、行政にもお渡しする予定です。

組織訪問に取り組み始めましょう。さあ、それぞれの「プラス1」に一步踏み出そう！

健康サポート 一口情報



かもがわ出版より1400円（+税）にて発売中。

スキルアップ学習会
「福祉職場におけるメンタルヘルス対策」でも講師の清水先生が紹介していました。

保育労働のストレスやストレスの社会性の話から、職員集団や職場で進める労働負担軽減のことまで必読です！

恒例！！グリーンフェスティバル開催！！
新緑がまぶしい季節になってきました。そうグリーンフェスティバルの季節になりました。新入組合員に喜んでもらえるようグリーンフェス実行委員会一同頑張って準備をしてきました。

今回のテーマは「手をつなごう」です。そのため、企画もみんなで一緒に盛り上がるようなゲームをしながら交流できるものを用意しています。多くの方に参加していただき、色々な人と「手をつないで」ください。

もちろんいつもの屋台もありますよ。マイ箸、マイ皿、ごみ持ち帰り袋の用意もお忘れなく。また、お酒の飲みたい方は持参してくださいね。飲酒運転は絶対に行わないでください。

当日はみんなでステキなグリーンフェスティバルにしましょう！

実行委員長 坪谷雄介（みなと福祉会分会）

「受けが良いなう・・・」が実感

組織部長 神田 春美

春闘・職場闘争 嬉しい報告

皆さんご存知のように、すすかけ作業所分会は、06地本大会でめいほく作業所の一時金未払い支分給の要求闘争の発言を聞いて元気付けられ、06年度末の特別手当支給をかけ頑張ってきましたが、ついに05年度分の1ヶ月分が支給されることになりました!!

この間分会は、05年度決算で予想以上の繰越金ができたのは、職員の給与体系を全面改訂し賃金カットに応じたことによる部分も大きいということ、また背景には、正規職員の退職やパート職員の減数を受け止めながらも、職員として業務の質を落とさないように努めてきた結果であること、と胸を張って要求してきました。

そしてパート職員の賃金も、5年経過ごとに10円/時UPが実現されました。

みんなで要求し、みんなで実現できたことが分会の元気につながり、そのことでまた、他の分会も「頑張れるかも…頑張ろう!」と思えます。

自分達の仕事に誇りを持った要求として、諦めないで声を上げていきましょう。



私の父
は昭和九
年生まれ
大阪の実
家に帰つ
た時 酔つ
ぱらつて
話してく
れた事。
それは

たらこつついで。防空壕なんか意味あらへん。
焼け跡歩いてたら死んでる人いっぱいおるん
や。至る所に腕や足やバラバラになつて
落ちてたり、真っ黒に焦げた人がそこら中に
おるんや。でもな、怖いとも気持ち悪いとも
思へんのや。『こつちも死んでるわ』ぐ
らいや。三月の空襲で店(わりと大きな金物
屋をやっていた)は焼けてるし、帰る所あら
へんからどうしよう? とばつかり考へえた。
今から考へたら『よう生きてたなあ』と思う
ね。』

十歳の時の大坂空襲の話。「六月の一日や。B29がようけ飛んできて、空襲警報が鳴つたんや。近くの防空壕に入ろうとしたら隣の人々が『そんな所入つたらあかん!』って。布団持つてグランドまで一人で走つて逃げたんや。母親は買い出しに行つてし兄弟は勤労動員でほんま一人や。グランドの隅の溝に入つて布団かぶつてた。焼夷弾つてな、落ちる途中で弾けて『ザラザラ~ツ!』って燃えながら

「シリーズ・名物組合員」

「テーマ「名物組合員」とは違うよつな内容ですが気にしないでね…」

山野秀男さん ほしぞうき分会

落ちてくるんや。
くつといたら取
れへんねん。燃
えながら走つて
る人いっぱいおつ
たで。爆弾落ち

たらこつついで。防空壕なんか意味あらへん。
焼け跡歩いてたら死んでる人いっぱいおるん
や。至る所に腕や足やバラバラになつて
落ちてたり、真っ黒に焦げた人がそこら中に
おるんや。でもな、怖いとも気持ち悪いとも
思へんのや。『こつちも死んでるわ』ぐ
らいや。三月の空襲で店(わりと大きな金物
屋をやっていた)は焼けてるし、帰る所あら
へんからどうしよう? とばつかり考へえた。
今から考へたら『よう生きてたなあ』と思う
ね。』

この話を聞いて「私の先祖は大阪の商人だった」と言う事と「十歳の子どもが山の死体を見ても平気になつてしまふ戦争の恐ろしさ」に気付きました。当たり前ですが親父が生きてたから、自分も可愛い娘達もいる。「親孝行しよう」とふと思つてでした。(写真は愛媛県の花保育園に通つ春ちゃんと…ステキな「名物組合員」さんですね…有難う…)



個性派

「けやきの木分会」結成!

たくさんの人達の思いが詰まつた保育園である事を感じ、胸が熱くなり、「がんばるぞ! 必ず期待にこだわる保育園にするぞ!」という思いを新たにしました。とはいえ、ベテラン半分、新人半分、新しい園舎の使い勝手も、保育つくりも試行錯誤中。ともすれば無理をしがちで危険信号も出さうです。「健康で生き生き働き続ける」「何でも話し合える仲間づくり」を大切に、楽しい会にしていきたいと思っています。

個性的なメンバーが多いので、かなりユニークな分会になりそうです。只今、お互いを知り合うために「分会員プロフィール集」を作成中!

今は正規職員だけの加盟ですが、ぼちぼちと、短時間のパートさんも巻き込んで行きますよ! 若手分会員いわく「だって、分会入らなきゃソンですよねえ、だって樂しいもん! うふふ。」です。

よろしくお願いします!

(けやきの木分会長・服部友恵)

保育をよくする ネットワークなごや 総会

2007年5月18日 (金)

18:30~20:50

女性会館 3Fホール

杉山隆一氏を講師に、今後の民間保育園(社会福祉法人)に迫り来る情勢を話していたとき、それに対しての私たちの運動の方向性を探ります。多數参加を!!

○七春闘スキルアップ学習会大好評開催中！

三田卯じお知らせした「○七春闘スキルアップ学習会」も、第一回目・第三回目が終了しました。

第一回目は三月十三日、吉良多喜夫さん（愛労連事務局次長）を講師に「パート労働法『改正』案の内容を読む」と題して学習しました。

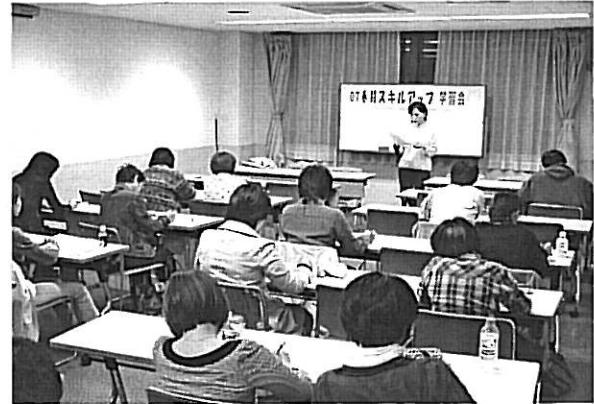
今の社会の格差拡大の実態と、その原因は財界・政府による雇用破壊（構造改革・規制緩和・相次ぐ労働法制の改悪）によることをおさえました。また、個人請負は「消費税・社会保険料対策」であり労働者を完全にモノ扱い、「研修生」は一年間労基法の適応外といふことを悪用し外国人研修生を人権侵害させ方をしている…等々。

そして今国会に上程されたパート労働法

は、差別禁止規定が設けられたもののその対象者のハーダルは高く全パート労働者のわずか1%でしかないことや、同一事業所に同様の仕事をしている正規労働者がいない場合は対象外であるなど、フルタイムパートにはそもそも適応外であること、有期契約パートも対象外である、ことが解説されました。

最後に、オフランダの取り組みが紹介され、実効あるパート労働法改定や最賃引き上げのために、わたし達が学習・宣伝・署名団体会員請など行動を広げていくとの大切さを確認しました。

やはり、財界の代弁者である現政治の転換が必要です。



「福祉職場におけるメンタルヘルス対策」

(京都職連 清水良子さん)

第三回目は四月二十日、清水良子さん（京都職連）を講師に「福祉職場におけるメンタルヘルス対策」の学習をしました。福祉・保育職は感情労働で、自分の感情をグッとおさえ、子どもや障害者の方に、配慮をしごんやかに接する…、これは本当に疲労するということを言われました。「ううだね」と受け止める共感疲労は、脳疲労が大きくなかな簡単に回復しないとのこと。職場以外の人間関係・世界を豊かにすることの大切さを話されました。

また、仲間たちと支えていくことができるのだろうかななど、今後の対策方法としても組合として考えていく良い機会となりました。

先生のお話の中で、心の病気にならない

におけるメンタルヘルス対策、④メンタルヘルスの相談体制の確立と運用、⑤心の病による休職者の復帰支援プログラムの作成、⑥労基法・安全衛生法を職場に根付かせる事（労働安全衛生委員会の100%機能）と

説明してくれました。

職場の一人ひとりが、労基法や安全衛生法に興味関心を持ち、きちんと学習し理解して、意識ある労働者にならなければいけません。三月の代表者会議で配布した職対部の資料は活用していますか？分会で読み合せから始めましょう。

参考者の感想を紹介します。

私と同じように働く労働者の人たちの自殺者が八年連続三万人を超える現状を聞き、まず驚きました。そして、自殺をはかねつける人はもつといふこと、働く労働環境の厳しさを感じました。その中でも、心の

【編集後記】
桜もすっかり散り、新緑の季節ですね。私の好みとしては、満開の桜よりも、そのあとに出てきた新しい緑の小さくて柔らかそうな葉っぱの木が清々しく気持ちいいので好きです。さて、職場でも新しい仲間が増えたところも多いと思います。そんな仲間を歓迎する「グリーンフェスティバル」も、今週末ですね。四月二六日には「新しい仲間を増やそう！」未組織職場の訪問をしました。『グリーンフェスティバル』でも使われている「グリーンフェスティバル」は、元々色の名前ではなく、みずみずしい様子を表した言葉だつたといわれています。

★第四回 五月三十日（水）
「あなたの施設の会計は—財務諸表の見方」

★第五回 六月十五日（金）
「だから大切『労働組合』」

ための対策として、『十分な睡眠・週1日以上の休日・家事の分担（仕事中毒予防）も、夫婦共に良い）・年休活用』をさつくり実行していきたいと思いました。
子どもたちの成長を見守り、父母の方たちと共に育てていく、人と人との関わりを大切にしている仕事をする上では、誰がいふ生活の中で、自分の心を振り返り気づかうこと、共に働く仲間たちの心にも寄り添つていくことも大切にしていきたいな」と感じました。（池内わらべ保育園分会 K）

